



平成 29 年 3 月 29 日

各 位

上場会社名 株式会社トーエネック  
代表者 代表取締役社長 久米 雄二  
(コード番号 1946)  
取締役専務執行役員 奥村 与幸  
問合せ先責任者 経営企画部長  
(TEL 052-219-1902)

## 中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）策定に関するお知らせ

当社は、このたび中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

平成 26 年度にスタートした中期経営計画（平成 26 年度～28 年度）は、「現状からの脱却と明日への挑戦」を基本方針としたうえで、①一般工事の拡大による売上高・利益の最大化、②電力関連工事における生産性のさらなる向上、③聖域なき効率化の推進、④企業風土の変革への挑戦 の 4 項目を重点方針として、全社一丸となって取り組んでまいりました。

これらの取り組みの結果、過去と比較して高い受注高・利益水準になるとともに、電力配電工事については業界におけるトップランナーを達成することができました。

日本経済の現状は、アベノミクスの取り組みの下、経済再生・デフレ脱却に向けた進捗がみられますが、米国大統領による新しい政策の展開、英国の EU 離脱に向けた動きにより、世界経済の先行き不透明感が高まっているなど、リスクに注視が必要な状況にあります。

また、電力システム改革の進展により、電力業界の枠組みが大きく変化する中で、電力関連工事の価格に対しては厳しい要請が今後も継続すると予想されます。

こうした中においても、安定的な収益を確保しつつ更なる成長ができる企業を目指すために、スローガンを「お客さまと新しい未来へ」とした中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）を策定いたしました。

中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）	
スローガン	「お客さまと新しい未来へ」
重点方針	①環境変化への対応と成長への挑戦 ②安定した収益の確保 ③企業風土改革の更なる推進
数値目標（連結）	平成 31 年度 売上高 2,200 億円、営業利益 90 億円、 営業利益率 4.0%、ROE 5.0%

これらの取り組みを当社グループが一体となって推進し、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

添付資料 中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）

以 上

# 中期経営計画

(平成29年度～平成31年度)

～お客さまと新しい未来へ～

株式会社 トーエネック

# 事業を取り巻く環境

- ・日本経済の現状は、アベノミクスの取り組みの下、経済再生・デフレ脱却に向けた進捗がみられるが、米国大統領による新しい政策の展開、英国のEU離脱に向けた動きにより、世界経済の先行き不透明感が高まっているなど、リスクに注視が必要
- ・電力システム改革の進展により、電力業界の枠組みが大きく変化する中で、電力関連工事の価格に対しては厳しい要請が今後も継続すると予想
- ・生産年齢人口の減少が進む中、中長期的に施工能力不足の懸念

# 数値目標・成長への投資

## 数値目標：平成31年度の数値目標（連結）

売上高 [億円]	2,200
営業利益 [億円] (営業利益率 [%])	90 (4.0)
ROE [%]	5.0

## 成長への投資

・再生可能エネルギー事業・M & A・研究開発・人材育成の分野へ  
今後3年間で1,000億円の投資を実施見込み

# 重点方針と戦略（1）

## 重点方針1：環境変化への対応と成長への挑戦

### ① 首都圏における営業活動の強化

- ・市場規模が大きく将来性のある首都圏における営業・施工体制の強化
- ・グループ会社の経営資源を活用した受注の拡大

### ② 成長分野における事業の拡大

- ・海外事業基盤の強化・拡大（海外電力インフラ事業など）
- ・将来性のある市場における受注の拡大（航空宇宙産業など）
- ・大型国家プロジェクトの受注および体制の整備
- ・M & A、研究開発など将来を見据えた積極的な投資の実施

# 重点方針と戦略（２）

## 重点方針２：安定した収益の確保

### ①電力配電工事業界におけるトップランナーの維持

（安全・品質・生産性）

- ・自律的・自発的に行動できる人材の育成と継続的な改善活動の展開
- ・工事計画・工事管理の強化
- ・現行ルールの見直しおよび工具・機材の開発・導入

### ②一般工事における営業基盤の強化とお客さま満足度の向上

- ・既存顧客に対する営業・施工体制の強化
- ・設備診断、リニューアル提案の展開
- ・お客さまニーズに対する直営即応体制の整備

### ③施工能力の強化

- ・将来を見据えた直営要員確保と技術力の向上
- ・施工能力確保を見据えた協力会社との連携強化

### ④コスト競争力の強化

- ・工事原価の低減（資材の廉価購買・安定調達など）
- ・聖域を設けない効率化策の継続的な取り組み

# 重点方針と戦略（3）

## 重点方針3：企業風土改革の更なる推進

### ①コンプライアンスの徹底

- ・実効性のあるコンプライアンス施策の展開

### ②安全風土と施工品質の維持・向上

- ・安全衛生意識高揚の推進（安全創造館の活用など）
- ・品質管理の強化

### ③ダイバーシティの推進

- ・いきいきと働ける企業風土の醸成に向けた意識啓発の強化
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・「多様さ」の活用による競争力の強化